

ディーラーマニュアル

ロード	MTB	トレッキング
シティツーリング/ コンフォートバイク	アーバンスポーツ	E-BIKE

ホイールセット (ディスクブレーキ)

Non-Series

WH-MT601

目次




目次.....	2
重要なお知らせ.....	3
安全のために.....	4
使用工具一覧	7
取付け/取外し	8
タイヤサイズ.....	8
カセットスプロケットの取付け/取外し	8
ディスクブレーキローターの取付け	8
メンテナンス	9
スポークの編み方.....	9
スポークの交換	10
チューブレステープの交換.....	11
フロントハブの分解/組立	13
フリーハブの分解/組立	13
フリーホイール部の交換.....	14
チューブレスタイヤの脱着方法.....	14
• 取付け	15
• 取外し.....	17
• インナーチューブ使用時の取付け	18

重要なお知らせ

- ディーラーマニュアルは自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方を対象としています。
専門知識のないユーザーがディーラーマニュアルを参照して、部品を取付けないでください。記載されている内容に不明な点がある場合は絶対にご自身で作業しないでください。購入された販売店、または代理店へご相談ください。
- 各製品に付属している取扱説明書も併せてよくお読みください。
- ディーラーマニュアルに書かれていない製品の分解、改造はおこなわないでください。
- 全てのマニュアル・技術資料はウェブサイト <https://si.shimano.com> でご覧いただけます。
- インターネットのご利用が難しいお客様から、印刷されたユーザーマニュアルを問い合わせいただく場合があります。シマノ代理店またはシマノ営業所に印刷版のユーザーマニュアルをお申し付けください。
- 地域のルールや法律に従って製品をご使用ください。


安全のため、必ずこのディーラーマニュアルをよくお読みの上、正しくご使用ください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負う内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

安全のために

警告

- 製品を取り付ける際は、必ず取扱説明書の指示に従う。
その際、シマノ純正部品を使用してください。製品や交換部品が不適切に組立て、調整されていると、製品の不具合を招き、転倒して重傷を負う場合があります。
-  部品の交換など、メンテナンス作業中は、適正な眼の保護具を着用する。

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 乗車前に車輪が固定されていることを確認する。転倒して大けがをすることがあります。
- 乗車前にはハブ取付け軸に亀裂が無いかどうか十分確認し、不具合を発見した時は使用を中止する。
このホイールはダウンヒル、フリーライド用に設計していないので、ダウンヒル用に使用すると車輪の変形、あるいは破損により転倒のおそれがあります。
- 製品の取扱説明書を十分に読んで正しく使用する。
クイックリリースの使用方法を誤りますと車輪の脱落などにより重傷を負うことがあります。
- 乗車前にはスポークの折れ、緩み、リム面のへこみ、キズ、割れなどがないかどうか車輪を点検し、これらの症状がある場合は使用を中止する。
車輪が破損し、転倒するおそれがあります。

F15 (フロント15 mm軸)、R12 (リア12 mm軸) ホイール (Thru Axle)

- このホイールは専用のフロントフォーク/フレームおよび固定軸との組み合わせでのみ使用する。
それ以外のフロントフォーク/フレームおよび固定軸との組み合わせでは、自転車の乗車中に車輪が自転車から外れ、重傷を負うことがあります。
- 手のひらを使って車輪脱着レバーを力いっぱい強く締めても、車輪脱着レバーがディスクブレーキローターに干渉しないことを確認する。
ディスクブレーキローター側に車輪脱着レバーがある場合は、ディスクブレーキローターと干渉するおそれがあり危険です。
ディスクブレーキローターに干渉する場合は、使用を中止して販売店または代理店へご相談ください。



- 製品の取扱説明書を十分に読んで正しく使用する。
車輪脱着レバーの使用方法を誤りますと車輪の脱落などにより重傷を負うことがあります。

TL: チューブレスホイール

- タイヤの脱着は手で行う。
どうしても作業が困難な場合は、樹脂製のチューブレス対応タイヤレバーを使用する。その場合、タイヤとリムのシール部にダメージを与え、空気漏れを起こすおそれがあるので、必ずリム面の凹み、キズ、割れなどが発生していないか確認する。また、カーボンリムの場合は、カーボンの剥離やクラックなどが発生していないことを確認する。最後に空気漏れの無いことを確認する。

F15ホイール (Thru Axle)

- 前車輪をフロントフォークに取り付ける際は必ずフロントフォークの取扱説明書に示している指示を守る。
前車輪の固定方法と固定トルクはそれぞれのフロントフォークによって異なります。取扱いが適切でないと前車輪が脱落して重傷を負うおそれがあります。
- タイヤおよびリムに表示されている適切な空気圧で使用する。タイヤとリムに最大空気圧の指示がある場合は、低い方の値を超えないようにしてください。指示よりも高い空気圧で使用した場合、突然のパンクおよび/または突然のタイヤ外れにより重傷を負うおそれがあります。

WH-MT601-TL: 最大空気圧 = 3 bar / 44 psi / 300 kPa

自転車への組付け、整備に関する事項

- ディスクブレーキを使用する。
この車輪はディスクブレーキ専用車輪です。リムブレーキには対応しません。

▲ 注 意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- タイヤに表示されている適切な空気圧で使用する。
- パンク修理剤、シーラントをご使用になる場合は、販売店または代理店へ相談する。
- この車輪を使用する際は、カバーリングテープおよびリム穴キャップ (タイプ-Aの場合)、チューブレステープ (タイプ-Bの場合) を必ず使用する。
- カバーリングテープ、リム穴キャップ、チューブレステープはシマノ純正品を使用する。
パンクなどの可能性を防ぐため、シマノ純正部品の使用をお勧めします。
- リムテープは使用しない。
タイヤの脱着が困難になり、その際タイヤチューブを傷つけることがあり、突然のパンクによる転倒などのおそれがあります。

■ 慣らし運転

- 慣らし運転期間のブレーキ制動力に注意する。
ディスクブレーキには慣らし運転期間があり、慣らし運転がすすむにつれブレーキ制動力が上がっていきますので、ブレーキの制動力増加に対し注意を払い順応してください。ブレーキパッドあるいはディスクブレーキローターを交換した場合も同様です。

自転車への組付け、整備に関する事項

- シマノ専用工具 (TL-FC36) でディスクブレーキローター固定リング脱着時、手がディスクブレーキローター外周部に触れないよう注意する。
手を切るおそれがありますので保護手袋を着用してください。

使用上の注意

以下に記載する事項は必ずお客様にも指導してください

- 別売品の専用ニップルレンチがあります。
- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- 初期フレが出た場合か、使用開始から1,000 km走行を目安に販売店でのスポークテンション調整をお勧めいたします。
- リムのステッカーが剥がれますので洗浄液や薬品などを使用して車輪を拭かないでください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

自転車への組付け、整備に関する事項

- シマノ製純正のスポーク、ニップルを使用してください。ハブ体のスポーク挿入部分を破損するおそれがあります。
- 車輪の回転が重たくなった場合は、グリスアップを行ってください。
- 対応リフレクター、スポークプロテクターはスペック表 (<https://si.shimano.com>) でご確認ください。
- タイヤの脱着方法はタイヤ付属の取扱説明書を参照してください。

手順の説明を主体としていますので、製品イメージが異なる場合があります。

使用工具一覧

製品の取付け/取外し、調整、メンテナンスには下記の工具が必要です。

工具	
	TL-HB16
	TL-FH12

取付け / 取外し

タイヤサイズ

各ホイールの推奨組付けタイヤサイズは以下のとおりです。

シリーズ	ホイールサイズ	モデル名	タイヤサイズ
Non-Series	622 x 25C (29")	WH-MT601-TL-F15-29	29 x 2.00 - 2.35
		WH-MT601-TL-F15-B-29	
		WH-MT601-TL-R12-29	
		WH-MT601-TL-R12-B-29	
	584 x 25C (27.5")	WH-MT601-TL-F15-275	27.5 x 2.00 - 2.35
		WH-MT601-TL-F15-B-275	
		WH-MT601-TL-R12-275	
		WH-MT601-TL-R12-B-275	

カセットスプロケットの取付け/取外し

カセットスプロケットの取付け/取外し方法は、カセットスプロケットのディーラーマニュアルを参照してください。

ディスクブレーキローターの取付け

ディスクブレーキローターの取付け方法は、油圧式ディスクブレーキのディーラーマニュアルを参照してください。

メンテナンス

スポークの編み方

使用上の注意

- 車輪組立時は、シマノ専用工具 (前用：TL-HB16、後用：TL-FH12) をご使用ください。

図のように編んでください。

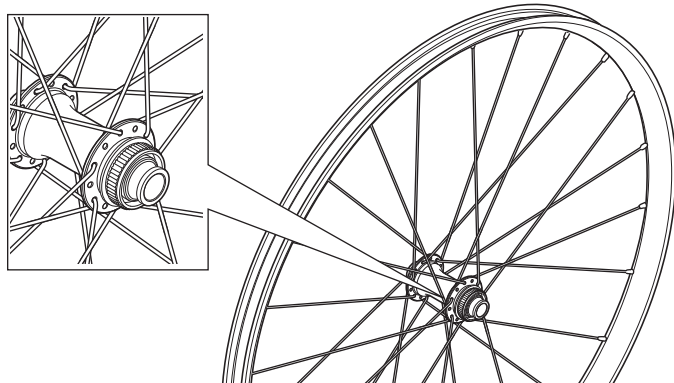
* スポークテンション値は目安です。

スポーク数：24本

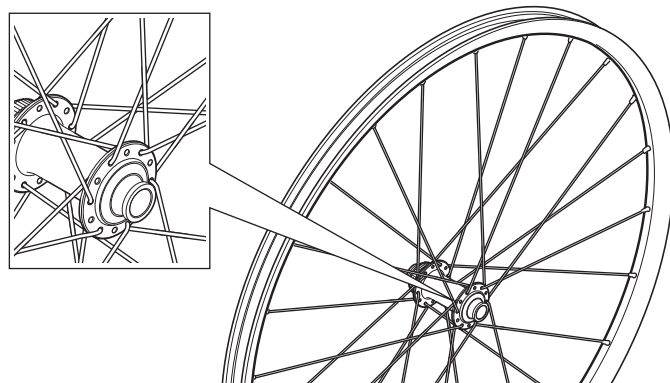
ラジアル組には対応しません。

前用

左側 (ディスクブレーキローター側)

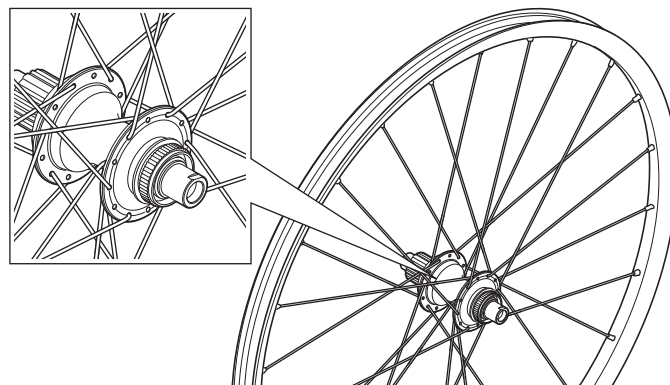


右側

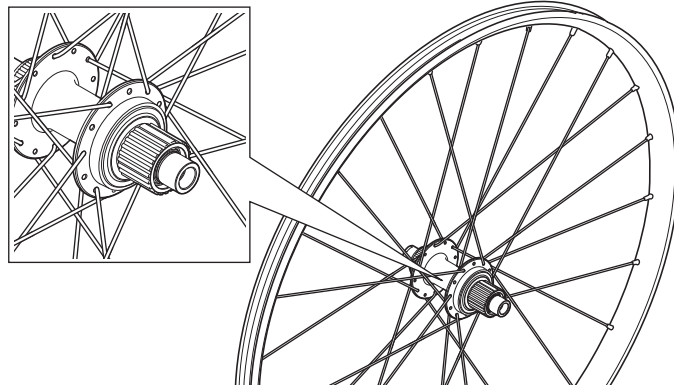


後用

左側 (ディスクブレーキローター側)



右側 (スプロケット側)



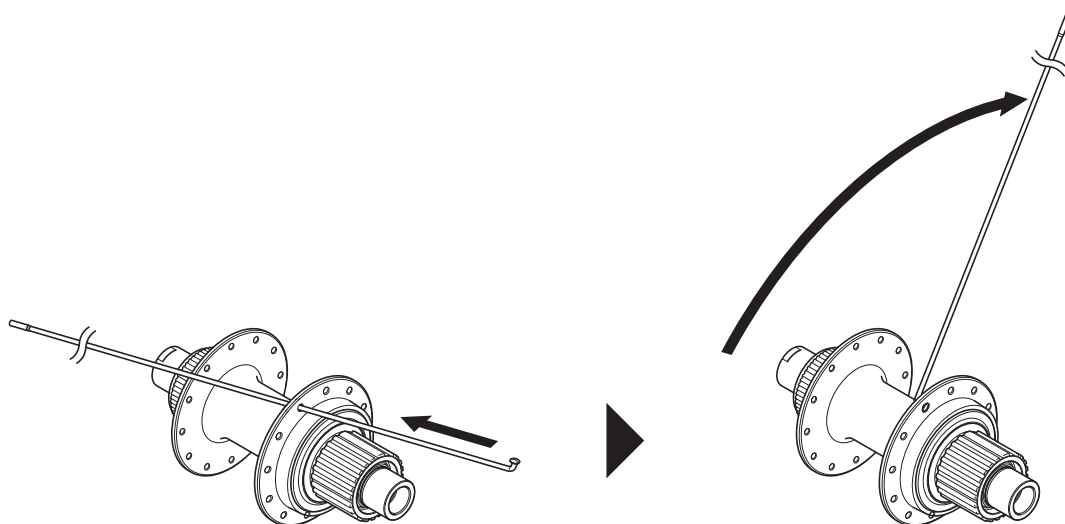
スポークテンション値		
	前用	後用
左側 (ディスクブレーキローター側)	800 - 1,200 N	> 850 N (MAX-MIN \leq 400 N)
右側	29": <1,050 N (MAX-MIN \leq 400 N) 27.5": <1,400 N (MAX-MIN \leq 400 N)	< 1,400 N (MAX-MIN \leq 400 N)

スポークの交換

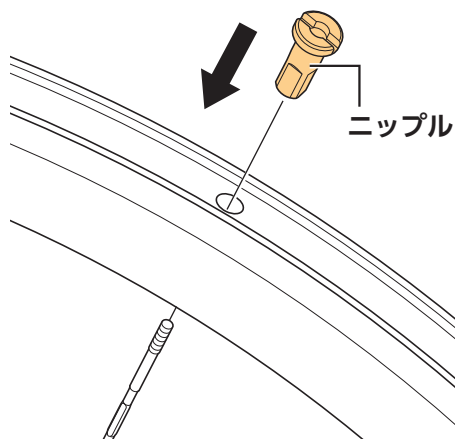
スポーク交換前にチューブレステープを取外してください。

(チューブレステープの取付け/取外し方法は、「チューブレステープの交換」の項目を参照ください。)

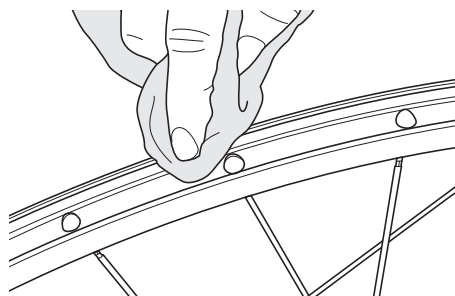
1. スポークをハブフランジの穴に通します。



2. ニップルを取付け、スポークを既定のテンション値で締めこみます。



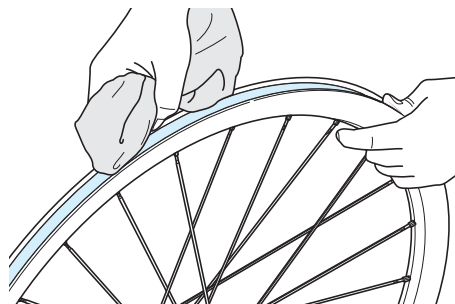
3. チューブレステープ貼付け面やリム穴の汚れを取り除きます。



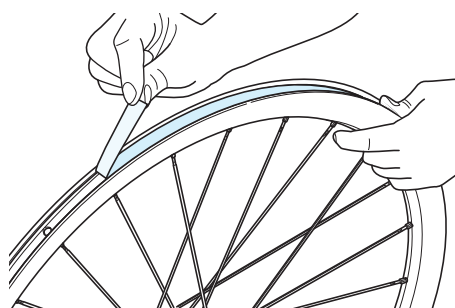
チューブレステープの交換

1. シーラントを拭き取ります。

* シーラント使用時のみ

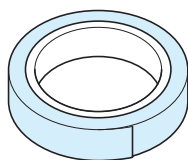


2. チューブレステープを取外します。

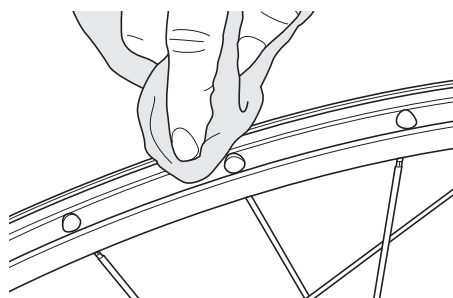


使用上の注意

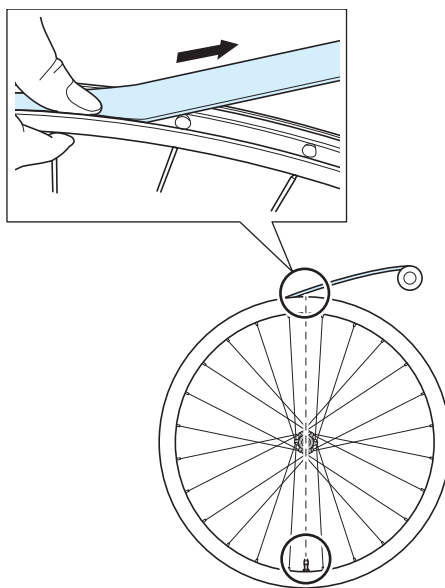
- チューブレステープは再利用できませんので交換の際には新しいものを使用してください。
- チューブレステープはリム幅に合ったものを、ご使用ください。
- パンクなどの可能性を防ぐため、シマノ純正チューブレステープの使用をお勧めします。



チューブレステープ

3. リムのテープ貼付け面の汚れを拭き取ります。**4. 新しいチューブレステープを貼付けます。**

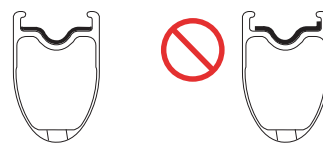
チューブレステープはバルブの反対側から貼り始めてください。



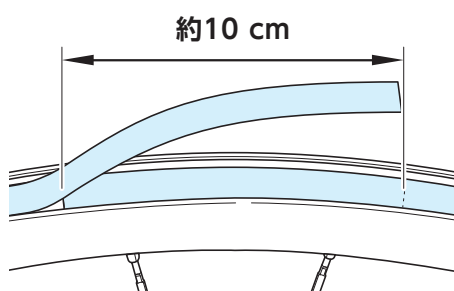
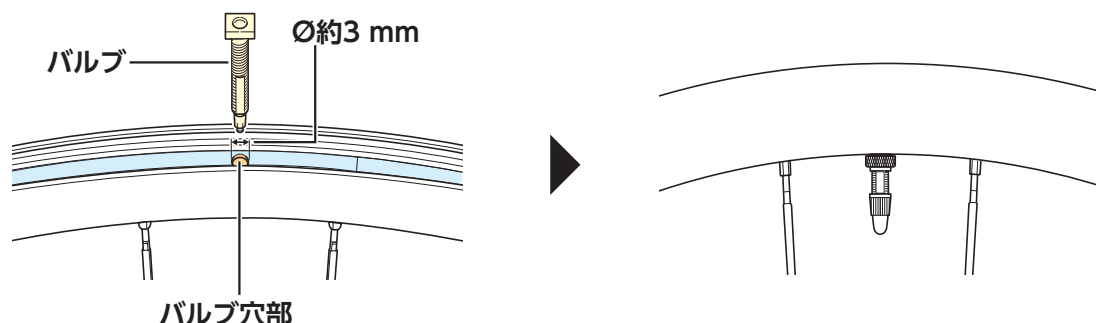
TECH TIPS

- テープが破れますので、工具などは使わずに手で貼付けてください。テープを貼る際は、手である程度引っ張りながら貼付けます。

チューブレステープは、図のように片側にずれることなく、リムの真ん中になるように貼付けます。

**5. テープの両端をリムに密着させます。**

* 貼り終わりは約10 cmほどオーバーラップさせてください。

**6. バルブ穴部に下穴を空け、バルブをはめます。****フロントハブの分解/組立**

フロントハブの分解/組立て方法は、HB-MT410のディーラーマニュアルを参照してください。

フリーハブの分解/組立

フリーハブの分解/組立て方法は、FH-MT410のディーラーマニュアルを参照してください。

フリーホイール部の交換

フリーホイール部の交換方法は、FH-MT410のディーラーマニュアルを参照してください。

チューブレスタイヤの脱着方法

安全のために必ずお守りください。

▲ 警告

- タイヤの脱着は手で行う。

どうしても作業が困難な場合は、樹脂製のチューブレス対応タイヤレバーを使用してください。その場合、タイヤとリムのシール部にダメージを与え、空気漏れを起こすおそれがありますので、必ずリム面の凹み、キズ、割れなどが発生していないか確認してください。最後に空気漏れのないことを確認してください。

▲ 注意

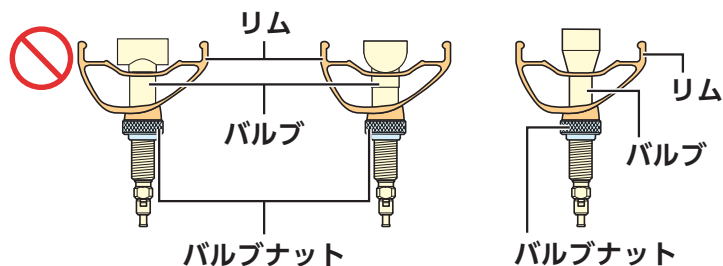
- インナーチューブ使用時にもリムテープは使用しない。タイヤの脱着が困難になり、その際タイヤチューブを傷つけることがあり、突然のパンクによる転倒などのおそれがあります。
- バルブナットを締過ぎない。バルブナットを締過ぎるとバルブシールが変形して、空気漏れを起こすおそれがあります。

使用上の注意

- タイヤがはめにくい時は、水あるいは石けん水を使用してすべりをよくしてください。

取付け

1. リムにバルブを取付けます。

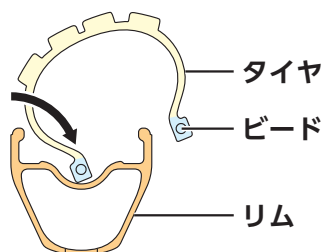


使用上の注意

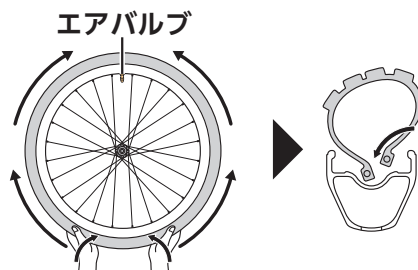
- バルブの向きに注意してください。
- バルブナットを締込んだ時にバルブとバルブナットが共回りしていないことを確認してください。

2. タイヤの片方のビードをリムにはめ込みます。

* タイヤビード部、リムおよびバルブ部にゴミや傷などが無いことを確認してください。

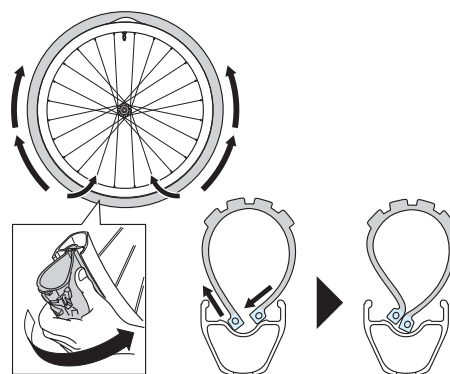
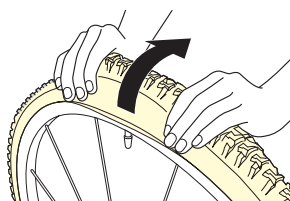
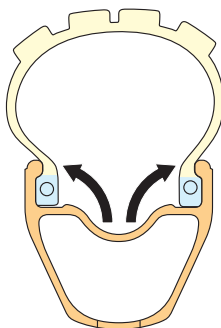


3. エアバルブの反対側からもう一方のビードをセットします。



TECH TIPS

- エアバルブ側が入れにくい場合、反対側の入っているほうのビードを手で上に押し上げる動作をエアバルブのところまで繰り返してください。

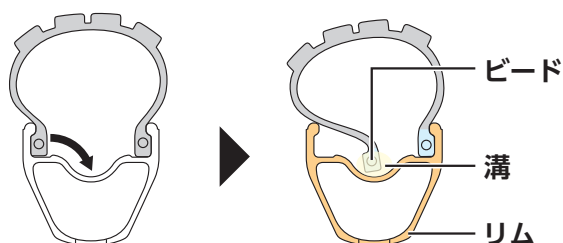
**4. 両手でタイヤを握って、タイヤをリムに入れます。****5. 空気を入れてタイヤのビードをリムにロックさせます。****6. 一度空気を抜いてビードがリムにロックされていることを確認します。**

ビードがロックされていないと空気を抜いた時にビードがリムから外れます。

7. 適切な空気圧まで空気を入れます。

取外し

1. タイヤの空気を抜き、片方のビードをリムのハンプの内側の溝に落とし込みます。

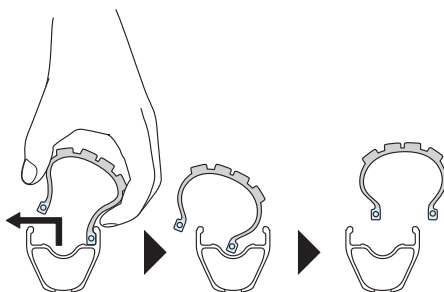


TECH TIPS

- ビードは必ず片側だけ落とし込んでください。
両側を落とし込むとタイヤが外しにくくなります。両方落とし込んだ場合はもう一度空気を入れてビードをロックさせ、タイヤの取外しの最初の手順に戻ってください。

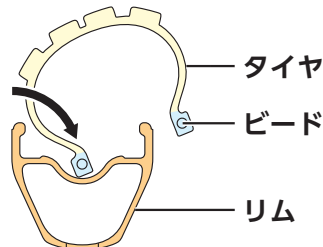
2. ビードを取外します。

* エアバルブ側から片方のビードを取外し、その後もう一方のビードを取外します。



インナーチューブ使用時の取付け

1. エアバルブのロックリングを緩め、エアバルブを取外します。
2. タイヤの片方のビードをリムにはめ込みます。



3. インナーチューブをタイヤの中に装着します。

装着する前に、リム外周部とタイヤビード部を十分に濡らしてください。

インナーチューブは少し膨らませ、タイヤの中にすべらせるように装着してください。

使用上の注意

- インナーチューブのエアバルブがリムに対応するか確認してください。
- 対応チューブの仕様については販売店にご相談ください。

4. エアバルブの反対側からビードをはめ込みます。

この時、チューブを挟まないように注意してください。

必要であれば、石けん水をご使用ください。

5. タイヤがロックされるまでインナーチューブを膨らませます。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**

〒590-8577 堺市堺区老松町3丁77番地